

## 行財政問題懇談会議事録

日時	令和5年12月19日(火)10:00~11:50
場所	本庁舎本館 2階 大会議室
議題	第7次坂出市行財政改革大綱(案)について

【内容】 委員の互選により会長、副会長を選出し、会長による議事進行のもと、事務局より提案した第7次坂出市行財政改革大綱(案)について審議を行った。

<質問> 少子高齢化が進み、子どもの数が減ってきているため、学校の合併や老朽化について懸念しているが、その対応をお聞きしたい。

<回答> 坂出市も人口減少が顕著であり、特に若い人の人口が減っている。保育所や幼稚園においては、子どもたち本位の質の向上、保育教育の質の向上の最適化をめざした結果、公立の保育所と幼稚園を統合して認定こども園を開設している。小中学校においては、令和4年10月に前期概ね5年以内、後期概ね10年以内で小学校と中学校を統合していくべきという答申をいただき、前期の再編について、庁内に推進委員会を設置し、検討を進めている。

<意見> 坂出再生に関して人口流失に歯止めをかけ、更には人口を増加させるためには働く場所が非常に大切になってくる。坂出市から大きな企業が撤退するケースが多くみられるが、坂出市はコンパクトなまちでもあり、総合病院が3つもある。高等学校も普通科高校、商業系や工業系、そして私立もあるということで非常に教育としても充実している。ポテンシャルがあるのでこれからの企業誘致対策をしっかりと取り組んで頂きたい。

<質問> 8ページの積極的な情報発信において、SNSを有効活用すると記載されているが、ツールだけではなく、坂出市のゆかりの方々に坂出を全国にPRしてもらってはどうか。

<回答> 公民連携を攻めの行革ということで掲げており、直近では大学の教授や地元の芸術家から協力を得て、企画や催し物を実施するとともに、SNSを通じて発信もしているが、引き続き検討していきたい。

- <意見> 坂出市は子育て支援にすごく力を入れており、海や山、三金時など子どもを育てる環境としてもよいところなので、もう少し積極的にPRをしていただきたい。
- <意見> 住みたいまちに繋げていくために坂出市のよい情報を市内だけではなく外に発信していくことが重要だと感じている。
- <質問> 教育の改革の一環で部活動を民間に委託するなど、坂出市としては取組む可能性があるのか。
- <回答> 中学校の部活動については、市内のスポーツ団体や民間への委託、県教諭の人材バンクの活用や教師の兼業などいろんな手法があり、検討を進めている段階である。
- <質問> 13ページの自主財源の確保で新たな企業誘致とあるが、市内のどのあたりに誘致する予定なのか。
- <回答> 今現在、坂出市内の工業用途となっているエリアについては、ほぼ民間企業の所有になっている。今後予定している都市計画の用途見直しにより、企業誘致する用地になっていくと考えている。
- <質問> 第6次の大綱の中では大規模災害に備えての体制整備というのがあったが、第7次の大綱で外しているのはなぜか。
- <回答> 防災関係の記載は第6次の大綱の中で初めて記載しており、大規模災害が多発する中で、坂出市としても積極的に取り組む必要があるという考えにより第6次では記載していた。防災に関しては、完全に大丈夫だというものでないものの、自主防災組織の結成状況や各種ハザードマップの作成状況などを踏まえ、大綱からは外している。なお、地域防災計画の中においては、更に詳細な内容を詰めていくこととしている。
- <意見> 国勢調査毎に坂出市の平均寿命を見ると、平成22年を除きかなり下回っている。これは、出生直後の医療の問題と考えているため出生直後に亡くなるような子どもがいなくなるよう取り組んでもらいたい。

- <意見> 11ページの機能的な組織運営の推進において、職員の人材育成をもう少し強力にバックアップし、その結果市民サービスの繋がるというところを感じられるような積極的な文章表記にしていきたい。
- <質問> 人事異動の人事計画や人材育成のプランについてお聞きしたい。
- <回答> 特に事務職につきましては市役所の業務は非常に多岐にわたっており、特定の業務しかできないというよりは、様々な部署を経験して職員のスキルを上げていくため、だいたい3年から5年程度で人事異動を行っている。また、その職員が次にどういった仕事をすればその職員のスキルが伸びていくかそういったことを考えながら人事異動も行っている。あわせて様々な研修等を行い、全体のレベルアップを図っている。
- <意見> 経費削減は大切だとは思いますが、子育てについては、人が人を育てるところで、手厚く出来るところはしていきたい。
- <意見> 高齢者にとってもスマートフォンが必須な時代になっているので、講習会を実施するなど、誰一人取り残さないデジタル化の実現をめざしてもらいたい。
- <質問> 令和6年春のイオン休業に伴い、どこで物を買ったらいいのかなどのお話が聞こえてくるが、駅前再整備における方針は変えないのか。
- <回答> イオンについては、令和6年春に一時休業に入り、新たな店舗に向けて、現在検討を進めているとお伺いしている。イオンが引き続き現在の場所で営業を再開することを前提とし、休業中においては、市民が買い物不便とならないような手立てを模索していきたい。
- <意見> 人口減少対策に取り組むためには、新婚世帯の家賃やマンション建設への補助に予算を配分するだけでなく、子育てやDXなど坂出市の素晴らしいところが伝わるように、イメージづくりに予算を使ってもらいたい。

- <意見> 坂出市の人口減少というマイナスの思考で対策を立てているが、坂出のいいところを知って移住している人もいる。市外から移住して来た人たちは多様な価値観を持っているため、不満を持っていることもあると思うが、市は移住者の定住に向けた対策がまだできていないと感じている。
- <意見> 坂出北インターもフル化を予定しており、浜街道もほぼ同時期に4車線化するので、新しい企業がこちらへ来たがっている面もあるが、住宅環境など不透明な部分もある。本当に住んでもらえる企業誘致を図るべきだと思う。
- <意見> 坂出市の人口は減少傾向にあるため、何らかの手を打たないとこれからの坂出市は伸びていかないと感じている。これから手を打つのであれば、子どもを育てていける環境づくりを要望する。
- <議事> 本日お諮りした案について、11ページの機能的な組織運営の推進において、職員の人材育成に対し、積極性が感じられないとのご指摘があったことから、文言を修正し、また、子育ての中において、評価もいただいた一方で発信不足などのご意見も複数あったことから、8ページの積極的な情報発信において、文言の表現を修正した案をもって第7次坂出市行財政改革大綱（案）とする。文面の調整については事務局にてお願いする。